

市政への質問

行財政改革

工夫で収入の確保を

問 市のそれぞれの部署が広告収入などの財源を得れば、その取組みを評価し、その部署の次年度予算に加算してはどうか。

答 新規施策の財源として配分を検討。

本年4月からスタートした新行政改革プランは、その項目の多くが歳出の見直しである。一方で、歳入の確保も大変重要である。

すでに同プランに歳入の確保として計画をあげており、市ホームページや広報紙に企業広告を掲載。体育館のネーミングライツ（施設の命名権）など、19年度は約490万円の収入があった。

また、各部署が広告収入をはじめとした新たな財源を確保し、新行政改革プランの計画以上に収入があったときは、その取組みを正當に評価していく。具体的には、計画以上となった額をインセンティブ（報奨金）として市民ニーズに沿った新しい施策の財源として収入を得る取組みをした部署に配分することを検討していきたい。

問 ごみ袋の仕入れ価格が上昇し、基金を取り崩して販売価格の値上げを防いでいる状況と聞いています。少しでも取り崩さなく

てもよいようにごみ袋に企業広告を掲載してはどうか。

答 来年度、具体化に向け取り組む。

ごみ袋は、原油価格の高騰によって袋の製作価格が上昇し、すでに仕入れ価格と卸価格が逆転している状況である。しかし、ごみ袋を安定して市民に供給する目的から、グリーン・クリーン基金の運用利益により逆ざや部分を補てんし、販売価格を据え置いている。

少しでも経費の削減を図るため、ごみ袋に企業広告を掲載すべく他市の状況を調査しているところであり、来年度の具体化に向けて取り組む。

窓口サービスの向上

問 市役所の平日の時間外・土日開庁に向けた取り組みの現状は。また、市民センターなどの行政サービス機能を充実させてはどうか。

答 順次計画的に検討。平日窓口サービスの時間

外、土日開庁については、平日の昼休み窓口取扱い事務を拡大して、今年12月の試行を目指し、市民ニーズの高い市民課・国保医療課・こども課・広報課の4課が準備を進めている。

今後の取組みについては、この昼休みの窓口試行の利用状況や課題をみて、平日の開庁時間延長や土日窓口サービスの開設など順次計画的に検討していく。

市民センターなどの行政サービス機能充実については、高齢化社会の進展や本市の地域の広さなどから、市民が身近なところで多様なサービスが受けられるように整備することは、今後検討すべき重要な課題である。経験豊かな再任用職員の活用も含め、費用対効果、本市の特性や他都市の状況などを十分調査研究しながら、本市にふさわしい行政サービスのあり方を検討していく。

県行革の影響

問 消防広域化の枠組みについて県から提案があったが、市の考え方は。

答 阪神北地域と篠山市、丹波市を加えた枠組みを希望。

県の検討委員会から示された篠山市、丹波市との消防広域化案の枠組みについては、救急医療体制など、現消防体制を維持しながら広大な面積を管轄することで、国が示すス

ケールメリットを見出すことは困難である。

広域化を検討するにあたり、本市は阪神北地域4市1町での広域化を希望し、さらに篠山市、丹波市を加えた大きな枠組みで広域化を進めるべきであると回答している。

問 県の新行革プラン（第二次案）について、市民生活や市政の執行に支障が生じないように県に申し入れたのか。

答 県に対して強く要望。

県民局について、第1次案では5県民局1県民センターで提案されていたが、現地解決型の総合行政機関としての県民局の機能を堅持すべきと、三田市を初め各市の強い意見の中、現行の10県民局体制は残ることになった。

今回の第2次案においては組織簡素化が打ち出され、特に土木、福祉部門などの圏域事務所については各県民局に1つという方向が示されており、これに対する市町説明会が7月15日に開催され、市として、土木事務所機能の存続と保健支援センターの充実を強く要望している。

再編統合案は市民の安心・安全の確保の観点から、市内における県事業の撤退、災害発生等の緊急時の対応、青野ダムの管理など初動態勢が懸念されるため、三田土木事務所の存続と三田保健支援センターの充実を地元選出の両県議員にも支援要請するとともに、県に対して、市の意見を8月18日付で提出している。

第296回(9月)定例会議案審議結果一覧

議員数は24名。議長は表決に加わらず、表決に参加した議員数は23名です。

| 市長提出議案 | | 24件 | 賛成 | 反対 | 結果 |
|---|---|-----|------------|-----------|------|
| 決算案件 | 平成19年度 一般会計決算 | | 21 | 2 | 認定 |
| | 平成19年度 国民健康保険事業特別会計決算／農業共済事業特別会計決算／下水道事業特別会計決算／北摂三田ニュータウン建設事業特別会計決算／老人保健医療事業特別会計決算／三田駅前地区市街地再開発事業特別会計決算／公営墓地整備事業特別会計決算／駐車場事業特別会計決算／介護保険事業特別会計決算／市民病院事業会計決算／水道事業会計決算 | | 全会一致(賛成) | | 認定 |
| 補正予算案件 | 平成20年度 一般会計補正予算(第2号) | | 21 | 2 | 可決 |
| | 平成20年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)／老人保健医療事業特別会計補正予算(第1号)／介護保険事業特別会計補正予算(第1号) | | 全会一致(賛成) | | |
| 条例制定案件 | ありがとう！三田つ子応援基金条例／グリーン・クリーン基金条例の一部を改正する条例／都市計画税条例の一部を改正する条例／地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例／財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例 | | 全会一致(賛成) | | 可決 |
| その他の議案 | 食器洗浄器の取得について／訴えの提起について(2件) | | 全会一致(賛成) | | 可決 |
| 議員提出議案 | | 1件 | 賛成 | 反対 | 結果 |
| 議会会議規則及び議会事務局処務規則の一部を改正する規則 | | | 全会一致(賛成) | | 可決 |
| 請願 | | 3件 | 採択 | 不採択 | 結果 |
| 「医療費の総枠拡大を求める」意見書の提出を求める請願／「保険でよい歯科医療の実現を求める」意見書の採択を求める請願 | | | 継続審査に賛成 21 | 継続審査に反対 2 | 継続審査 |
| 「ごみ有料化」(ごみ袋値上げ)完全中止を求める請願書 | | | 2 | 21 | 不採択 |
| 陳情 | | 1件 | | | |
| エス・コヤマ周辺の住環境改善に関する陳情書(企画総務) | | | | | |
| ※()は審査した委員会。陳情は委員会審査のみ行っており、採択・不採択などの結果は出していません。 | | | | | |

第297回(10月)臨時会議案審議結果一覧

議員数は24名。議長は表決に加わらず、表決に参加した議員数は23名です。

| 市長提出議案 | | 3件 | 賛成 | 反対 | 結果 |
|--------|--|----|----------|----|----|
| 条例制定案件 | 市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例 | | 20 | 3 | 可決 |
| 人事案件 | 監査委員の選任につき同意を求めることについて／固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて | | 全会一致(賛成) | | 同意 |



▲市民目線でのサービス向上を(市役所)